

太田圓三氏を懷ふ

一 記 者



歐米人は自殺する事を卑怯な仕業だと言ふ
或は自殺の動機が事業に失敗した人に多いから
宗教的に斯く言ふのかも知れない。

翻つて我々日本人は自殺する事は勇敢な行
爲だと思つてをつた、最も之は古來日本の武
士道を見ての事である。

近頃は日本にも武士道的な自殺はなくて、
唯事業の失敗とか、個人的な煩悶悲觀、つま
り歐米人の言ふ處の卑怯な死業が多くなつた

太田圓三氏の自殺は強度の神經衰弱からだ
と言はれるが、公表は心臟麻痺で倒れたと言
はれてをる。何れにしてもあの實行力に富ん
だ新人技術家は二月二十二日死んで終つた。

寄合世帯の復興局で最も働いた人は太田氏
であつた、役人の技術家としてあれ丈に働く
事は實に容易ならぬ努力であつたらう。

□

帝都の復興工事は大衆の知識に依つて立案
計劃されたもので一人の土木部長が名を成
すべきものではないが、あれだけ表面に立つ
て仕事を纏める爲には人知れぬ努力を以て幾
多の難關を突破した事であらう。

天下の事を纏めるには總て私利私慾を超越
しなければ出来るものではない、同時に感情
のみに走るものもブツ壊しになるのみである
が、然し人間性としての熱心實行力は必ず信

仰的に強烈であらねばならぬ。

太田氏は先輩に屈しないと同時に後輩を非
常に愛した、而感迫るご公會の席上でも聲涙
俱に下る人であつた、文藝や哲學に理解があ
つたから其談論は實に百花繚亂の有様であつ
た。

□

氏は随分雑誌や出版物に對し種々な意味
で補助したり援助したりしてゐた様であるが
自分の著述をして出版界に遣されたものは遂
になかつた様に思ふ。若し遣されたる著述が
あるとすればそれは帝都復興の技術的計劃で
ある。氏の理想は其所に最も大膽に現はれて
をる。

□

工事畫報が名譽賛助員として氏の署名を依
頼した時、氏は一句の感懷を書にして贈つて
來た、私は其句の意味を氏に問ふの間もなく
今回の事に遭ふた。

氏が復興局の土木部長として帝都復興の地
圖を脊にして撮つた、寫真ご其一句の感懷ご
は恐らく氏の最後のものであつたらう。工事
畫報は其所に得た二つの紀念物が太田氏の理
想を永久に語るべき思出の種ごなつた。(四月
二日城北田園の静夜、ひさり淨机に凭つて認
む)